

平成 26 年度 大学等における放射線安全管理研修会

平成 26 年 8 月 26 日（東京大学）報告

表記研修会および大学等放射線施設協議会総会に参加しましたので簡単な報告をします。遺伝子機能解析部門事務室に配付資料が保管されています。ご覧になりたい方は事務室までご連絡ください。

プログラム（研修会）

依頼講演

放射性同位元素等の規制に係る最近の動向

松本武彦（原子力規制庁 放射線防護対策部 放射線対策・保証措置課 放射線規制室）

招待講演

農地環境における放射性セシウム動態-東京大学大学院農学生命科学研究科の取り組み-

二瓶直登（東京大学大学院農学生命科学研究科）

PET による分子イメージングの進歩と将来

山谷泰賀（放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター）

コンプトンカメラによる分子イメージング技術の発展と応用展開

本村信治（理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター）

放射化物の安全管理について

榎本和義（高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター）

大学等放射線施設協議会出版物の改訂について

大学等放射線施設協議会出版委員会編集委員会

大学等放射線施設の現況についてのアンケート調査結果の中間報告と協議会の今後の活動について

斉藤直（大学等放射線施設協議会会長）

放射性同位元素等の規制に係る最近の動向では最近の事故・トラブルについて漏えいのことが特に取り上げられました。地下の配管からの漏えいに注意して欲しいとのことでした。また、実験途中のサンプルが管理区域外に持ち出された例も紹介されました。立ち入り検査に関する内容として指摘事項が紹介されました。立ち入り前の教育訓練、健康診断の実施が確認できない。法改正、予防規定の変更があっても教育訓練を省略している。予防規定が実態とあっていない。内部被曝による占領の測定が行われていない。被曝歴の有無について問診していることが確認できない。測定の方法が適切でない。保管の帳簿が無い。使用時間を週、3月で集計していない。核種、数量、装置名、使用の場所の記載が無い。などが挙げられました。

農地環境における放射性セシウム動態-東京大学大学院農学生命科学研究科の取り組み-では、農学部の教員がボランティアで行った研究と報告会について紹介がありました。報告会の内容につきましては、 に掲載されています。また書籍のダウンロードが可能です。

<http://link.springer.com/book/10.1007/978-4-431-54328-2/page/1>

PET による分子イメージングの進歩と将来とコンプトンカメラによる分子イメージング技術の発展と応用展開では新しいイメージング技術の医療への応用が紹介されました。

出版物の改訂につきましては、「大学等における放射線安全管理の実際'94'96 (平成 14 年 8 月発行)」「大学等における申請書等の作成マニュアル (平成 18 年 8 月発行)」「大学等における放射線安全管理の要点と Q&A-新版- (平成 19 年 6 月発行)」の 3 冊の見直しを行うことが報告されました。また、Radiation Safety –Reference Manual-のアップデート版作成を開始することが報告されました。

(中川)